

# 小柴自然公園

## KOSHIBA SHIZEN PARK



令和6年7月  
横浜市みどり環境局

### ■ 開園までの主な出来事

昭和23年10月	旧日本海軍の施設が米軍により接收
平成16年10月	日米合同委員会において返還の方針が合意
平成17年12月	小柴貯油施設の陸地部分全域と制限水域の一部が返還
平成18年6月	米軍施設返還跡地利用指針を策定
平成19年3月	横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画を策定
平成20年3月	小柴貯油施設跡地利用基本計画（都市公園利用）を策定
平成26年7月	（仮称）小柴貯油施設跡地公園基本計画策定
平成29年7月	都市計画決定 工事着手
令和3年7月	第1期エリアの一部（約1.5ha）を小柴自然公園として公開
令和5年9月	第1期エリア公開

### ■ 交通アクセス

所在：横浜市金沢区長浜 116-2

- 金沢シーサイドライン「幸浦」駅より徒歩約10分
- 市営バス321系統「長浜ホール前」徒歩1分
- 有料駐車場103台

### ■ お問い合わせ

#### ● 公園の整備に関すること

みどり環境局公園緑地事業課

TEL：045-671-4611

✉：mk-koenjigyo@city.yokohama.lg.jp

#### ● 公園の管理に関すること

みどり環境局南部公園緑地事務所

TEL：045-831-8484

✉：mk-nambuko@city.yokohama.lg.jp



小柴自然公園の詳細は  
ホームページをご覧ください



案内図



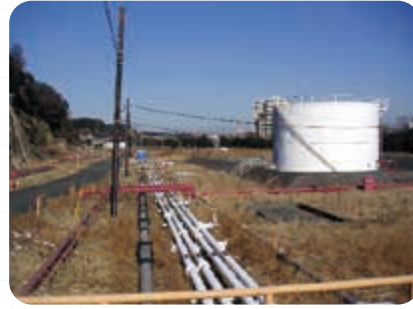
横浜で初めての万博となる2027年国際園芸博覧会の開催に向けて、横浜市では引き続き、豊かな水・緑環境をはぐくみながら「住みたい、住み続けたいまち 横浜」を目指し取り組んでいきます。



## 小柴自然公園のなりたち



返還直後の基地ゲート



場内（現在の遊具広場付近）

小柴自然公園は、旧在日米軍小柴貯油施設の跡地を公園として整備したものです。小柴貯油施設は、もともとは旧日本軍の貯油施設として整備され、戦後、在日米軍に接收され使用されてきました。地域の皆様と横浜市の長年にわたる活動がみのり、平成 17 年に国に返還されました。返還後は、施設内に残された豊かな緑を残しながら都市公園として活用する方針とし、平成 26 年に（仮称）小柴貯油施設跡地公園基本計画を策定しました。その後、平成 29 年に都市計画決定を経て着工しました。広大な敷地であるため、3 期に分けて整備を進めています。

## 小柴自然公園（第 1 期エリア）の特徴

第 1 期エリアは、南北約 1km の平坦な地形が特徴のエリアです。

### 遊具広場



車いすのまま乗れる遊具



スロープ付き遊具

障害の有無などにかかわらずすべての子どもたちが一緒に遊ぶことを目指した、横浜で初めての「インクルーシブ遊具広場」です。障害のある方や専門家のご意見をもとに、車いすのまま使える遊具などを整備しています。様々な難易度や特徴をもった遊具を配置し、それぞれの子どもがお気に入りの遊具を見つけられるようにしています。また、トイレや休憩スペース、外周の飛び出し防止フェンスなど、遊具以外の施設についても仕様を工夫しています。

### 多目的広場

広さ約 140m× 約 70m のグラウンドです。ソフトボールなどのスポーツや地域の活動に利用できます。



多目的広場

### 草地広場

広さ約 1ha の広々とした「原っぱ」です。のびのびと過ごすことができます。

### 海食崖

園地の西側に続く崖は、波の浸食によってできた海食崖で、ここがかつて海であったことを示しています。小柴自然公園では、崖の下に待受擁壁（落石などを止める土塁）を整備することで、崖を自然のまま安全に保全しています。



草地広場



海食崖と待受擁壁



公園種別：広域公園  
面積：約 55.8ha  
(第 1 期エリア面積：約 12.5ha)

### 凡例 Legend

- トイレ  
Toilets
- 駐車場  
Parking
- 自転車駐輪場  
Bicycles Parking
- バイク駐輪場  
Motorcycles Parking
- 水飲み  
Drinking Fountain
- 自転車走行可能ルート  
Cycling routes
- 園路  
Park Path

### 第 1 期エリア 園内図